

名蔵湾保護水面調査報告（藻場）要約

島袋新功、藤本裕

1 名蔵湾保護水面の概要

- イ 保護水面区域：石垣市崎枝地先 68ha
- ロ 増殖対象魚種：アオリイカ、ハマフエフキ、アイゴ、ブダイ
- ハ 指定年月日：昭和50年9月1日（農林省告示第874号）

2 藻場の調査

当海域には、リュウキュウスガモ、リュウキュウアマモ、ウミジグサ、ボウアマモ等が分布し、亜潮間上縁部～亜潮間帯にかけて、30～100m幅の帯状群落をなす。

3 魚類相調査（イカ類を含む）

小型ます網を用いて漁獲を行なった結果、38種262尾が漁獲され、そのうち、アオリイカ、オオメカマス、ホシサヨリ、ヤマトミズン、カスマアジ、リュウキュウイケガツオ、ヒメアイゴ、ゴマアイゴ、ヒトヅラハリセンボン、ネズミフグ等のサンゴ礁沿岸魚が多獲された。

4 アオリイカ種苗生産放流試験

イ、産卵場所と時期：アオリイカの産卵は、アジモ場、ガラモ場、サンゴ群落で、2月下旬より10月まで行なわれる。

ロ、採卵：産卵巣（ススキの葉茎）を投入し行なった。

ハ、ふ化：陸上池において試験を行なった結果、ふ化日数18～22日、水温28.5～28.9℃であった。

ニ、種苗生産：夜間に集魚燈を用い天然餌料を集める給餌方式で種苗生産を計画したが、台風接近による施設破損のため、試験を中断した。

5 水質等環境

水温、比重、DO、PH、COND. を毎月1回測定した。

6 保護水面周辺海域の漁業

名蔵湾の漁場図と主な漁業種類を示した。

7 対象魚種の種苗生産

アイゴとハマフエフキの当支場における種苗生産の現状、また、アイゴ稚魚の接岸と飼育試験の結果を報告した。

詳細については、下記別刷で報告した。

島袋新功・藤本裕・嘉数清、1976；保護水面管理事業調査報告書（藻場）、沖水試八重山支場、11pp、（謄写刷）。